

日本建築学会 建築計画委員会・建築社会システム委員会・農村計画委員会・都市計画委員会

第13回住宅系研究報告会プログラム

■主旨:

住宅・住宅系まちづくりのテーマは、建築計画・建築社会システム・農村計画・都市計画などで取り上げられ、大会では毎年多くの論文が発表されています。昨年度に引き続き、横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流を続けるため、第13回目の住宅系研究報告会を開催します。

報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを意図しています。

また、第一日目にパネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。

■日時:2018年11月30日(金)、12月1日(土)

■会場:日本建築学会建築会館・会議室

■全体プログラム:発表時間10分・質疑応答5分、コメンテーターによる講評15分

1日目 11月30日(金)	2日目 12月1日(土)
開会の挨拶・主旨説明 前田昌弘(京都大学) 10:00~10:10	セッション4 「移住定住と地域の持続」 5題90分 10:00~11:30
セッション1 「住空間の構成と計画」 4題75分 10:10~11:25	昼休憩 11:30~12:30
昼休憩 11:25~12:45	セッション5 「団地と地域の再生」 5題90分 12:30~14:00
セッション2 「高齢者・障害者の居住環境」 5題90分 12:45~14:15	セッション6 「集合住宅の所有・管理と更新」 5題90分 14:10~15:40
セッション3 「多様な世帯とコミュニティ」 4題75分 14:25~15:40	セッション7 「居住地の形成・変容」 4題75分 15:50~17:05
パネルディスカッション 懇親会 18:30~	閉会の挨拶: 藤岡泰寛(横浜国立大学) 17:05~17:15

■パネルディスカッションの概要:「世代の“あいだ”を暮らす」

今日では3世代がひとつ屋根の下に暮らすことも珍しく、若者と高齢者の間で知識や経験を日常的に受け継ぐことも、子育てや介護の支援を親族から受けることも難しくなっています。このように多世代での人間関係の希薄化が進む中、地域コミュニティにおける社会関係資本をどのように再構築していくのかは大きな課題と言えます。本シンポジウムでは、子どもから高齢者まで、日常生活の中で自然な形で出会い、互いに学び支え合う世代間の関係づくりに取り組む実践者をお迎えし、縦割りかつ世代別に議論される施設と住宅の”あいだ”のデザインを住まいから問い直すきっかけとしたいと思います。

<報告事例・パネラー>

「ひとつ屋根の下プロジェクト」 権頭 喜美恵 氏(社会福祉法人もやい聖友会)

「医,食,住と学びの多世代施設」 軍司 大輔 氏(株式会社未来企画)

「多世代シェア京都ソリデール」 片木 孝治 氏(株式会社応用芸術研究所)

<コメンテーター>

久保田 裕之 氏(日本大学)、藤岡 泰寛(横浜国立大学)、長谷川 洋(国土技術政策総合研究所)

<企画・コーディネーター>

住宅系研究報告会 建築計画委員会幹事(宮原真美子・前田昌弘・深井祐紘・藤岡泰寛)

■報告会への参加費(PD参加費含む) :会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 1,500円

■資料代:5,000円

■定員:70名(当日先着順)

■発表プログラム

○ 1日目 11月30日(金)

セッション1 住空間の構成と計画

10:10~11:25

司会: 深井祐紘(筑波大学) コメントーター: 前田昌弘(京都大学)

- 01 和室—写真比較調査による現代の和室のイメージの探求—
○服部岑生(千葉大学)、鈴木雅之、山岸輝樹
- 02 現代独立住宅における和室の設置状況と選好について —大分市の住宅団地を事例として—
○塩路和将(大分大学大学院)、西田航、和間美月、鈴木義弘
- 03 日本信用販売の「初期コーポラス」における建築計画的背景
—設計者・木村恵一が経験した戦後の官庁営繕事業を軸として—
○植竹悠歩(東京大学大学院)、大月敏雄、志岐祐一、松本真澄
- 04 住宅の防火設計における中国の新建築防火設計基準の研究
○馬致遥(神戸大学大学院)、北後明彦、大西一嘉

セッション2 高齢者・障害者の居住環境

12:45~14:15

司会: 小山雄資(鹿児島大学) コメントーター: 長谷川洋(国土技術政策総合研究所)

- 05 独居生活を送る軽度認知症高齢者の服薬環境実態
○安部未織(京都工芸繊維大学大学院)、阪田弘一、鈴木健二、大西香苗
- 06 小規模多機能型居宅介護施設の利用意識と立地志向の地域別分析
—愛知県、岐阜県のアンケート調査—
○王吉彤(日本福祉大学大学院)、鈴木博志
- 07 高齢者が住宅および日常生活で利用する建物内で感じる色彩の課題
○八尾純子(大手前短期大学(非常勤))、碓田智子
- 08 在宅高齢者における転倒状況の把握と建築的な転倒予防対策
— 東京大学医学部附属病院へ入院した大腿骨近位部骨折患者の調査 —
○今枝秀二郎(東京大学大学院)、孫輔卿、内山瑛美子、田中友規
谷口紗貴子、SUTHUTVORAVUT Unyaporn、三好友良、西野亜希子
田中敏明、飯島勝矢、田中栄、松原全宏、西出和彦、大月敏雄
- 09 重度肢体不自由者の住環境に関する研究
—戸建住宅を改修した住まいにおける有効性と課題—
○山田義文(日本大学)

セッション3 多様な世帯とコミュニティ

14:25～15:40

司会：友淵貴之（宮城大学） コメンテーター：野田満（首都大学東京）

- 10 地域密着型サ高住における居住者特性と地域との関係に関する考察
 ー地方小都市における高齢者居住システムに関する研究ー
 ○小林純（神戸大学大学院）、山崎寿一、山口秀文
- 11 公営住宅への入居申込者にみる子育て世帯の住環境の選択傾向
 ○伊丹絵美子（大阪大学大学院）、河野学、矢野桂司、
 式王美子、趙賢株、中西眞弓、生川慶一郎
- 12 大船渡市の防災集団移転地における高齢者の孤立化防止に関する研究
 ○中島美登子（香川大学）、小沢拓也、楠鷹人、河村祐希、
 大林圭太郎、湯谷朗人、平野凌次、永江大右、柏原翔、坂本誠弥
- 13 東日本大震災後の集団移転における住宅・生活再建と世帯分離・再編に関する研究
 ー宮城県岩沼市玉浦西地区を事例としてー
 ○前田昌弘（京都大学大学院）、佃悠、小野田泰明、
 高田光雄、天艸開、中村奎吾

○ 2日目 12月1日(土)

セッション4 移住定住と地域の持続

10:00～11:30

司会：平田隆行（和歌山大学） コメンテーター：三笠友洋（西日本工業大学）

- 14 中山間地域における9年間の空き家動態 ー和歌山県・紀美野町における空き家悉皆調査よりー
 ○縄田諒（和歌山大学大学院）、平田隆行、戸田拳士朗
- 15 I、Uターン者の移住動機と地域との関わりに関する研究
 ー石垣島白保集落でのWWF サンゴ礁保護研究センター職員に着目してー
 ○上村真仁（筑紫女学園大学）、山崎寿一
- 16 能登半島地震後の公営住宅転出入者からみる集落持続性要因に関する考察
 ー農山漁村地域の持続性に寄与する公的居住ストックの事例としてー
 ○菊池文江（神戸大学大学院）、山崎寿一、山口秀文
- 17 地域づくり組織を介した二地域居住者と地域との関係に関する研究
 ー兵庫県姫路市家島における建築ストックを活用した二地域居住促進事業を通してー
 ○越智友祐（神戸大学大学院）、山崎寿一、山口秀文
- 18 都市近郊農村の居民点維持に向けた宅地の利用・管理の実態に関する考察
 ー中国遼寧省瀋陽市瀋北新区尹家街道曙光村の場合ー
 ○張然（神戸大学大学院）、山崎寿一、山口秀文

セッション 5 団地と地域の再生

12:30～14:00

司会：山口秀文（神戸大学） コメンテーター：松浦健治郎（千葉大学）

- 19 八幡市男山地域における様々な主体が協働する地域再生のためのプラットフォームづくりに
関する研究 —「男山やってみよう会議」の実践を通じて—
○辻村修太郎（一般社団法人カンデ）、荒木公樹、江川直樹
- 20 産学連携による団地再生の試み
—洛西ニュータウンにおける住戸リノベーションとコミュニティ支援活動—
○井上えり子（京都女子大学）
- 21 タクティカルアーバニズムによる商店街再生に関する研究
—千葉市西小中台団地ショッピングセンターを事例として—
○杉本美樹（千葉大学大学院）、松浦健治郎
- 22 集合住宅団地における遊休空間の利活用が団地活性化に及ぼす効果
—NPO 法人台北市臻佶祥社会服務協会が利活用した 3 空間を対象として—
○頼俊仰（日本工業大学）、佐々木誠
- 23 高経年住宅団地における自由開放型コミュニティ施設の利用変化とその受容に関する事例的考察
○池添昌幸（福岡大学）

セッション 6 集合住宅の所有・管理と更新

14:10～15:40

司会：後藤智香子（東京大学） コメンテーター：内海康也（国土技術政策総合研究所）

- 24 都心部立地の高経年コーポラティブ住宅群における所有者・利用者変遷の解明
—同年代、同規模の特質を持つ「都住創」シリーズの比較を通して—
○宮野順子（京都光華女子大学）、荒木公樹
- 25 大阪市の民間賃貸住宅オーナーの現状と所有物件の更新に関する調査研究
○大谷由紀子（摂南大学）
- 26 マンション管理組合の組織的対応力からみる建替えの合意形成
○牧奈歩（筑波大学）、深井祐紘、花里俊廣
- 27 円滑化法制定以降の建替え事例からみた分譲マンション建替えにかかる期間と条件に関する研究
○深井祐紘（筑波大学）、牧奈歩、花里俊廣
- 28 集合住宅の一棟リノベーションの計画に関する研究
—近年の事例の計画特性と事業主の取り組み—
○井上大輔（名城大学大学院）、高井宏之

セッション7 居住地の形成・変容

15:50～17:05

司会: 益尾孝祐(アルセッド建築研究所)

コメンテーター: 早田幸(早稲田大学)

- 29 インフォーマル居住地改善事業に伴う住みこなしに関する研究
-コロンボ近郊・Wanathamulla 地区を事例として-
○川島快(元・京都大学大学院)、前田昌弘
- 30 住宅・土地の継承に着目した戸建て住宅地の維持・更新に関する研究
-箕面市桜ヶ丘住宅地を事例として-
○山口秀文(神戸大学)
- 31 社宅街の変容に伴う居住者人口構造の変遷に関する研究 — 福岡県大牟田市を事例に —
○足立壮太(東京大学大学院)、大月敏雄、
谷口尚弘、安武敦子、橋本泰作
- 32 日本統治時代における台北帝国大学の大学官舎地の形成と建築形式に関する研究
○郭 雅雯(中原大学)